

2025年度事業報告及び収支決算報告

日本は海外から高い注目を集める観光立国として発展を続けており、地域においても観光を活用したまちづくりが重要視されています。こうした中、新潟県では2025年度から4年間を計画期間とする「観光立県行動計画」を策定し、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」をビジョンに掲げ、観光振興を通じた地域活性化を推進しています。また、燕市においても「稼ぐ燕市」を基本方針に掲げ、これまで以上に「連携」を重視した取り組みを進めてまいりました。

燕市産業史料館では、2025年度にさまざまな新たな取り組みを展開しました。5月1日にミュージアムショップをオープンし、企画展と連動した地元企業製品の販売を開始したほか、部活動の地域移行を踏まえた「クリエイティブ Lab」をスタートしました。

さらに、史料館を拠点とした季節ごとのイベントを2回開催し、地域団体との連携強化を図りました。加えて、ウェブサイトのリニューアルを実施し、従来の会員向け情報発信だけでなく、工場見学にご協力いただいている企業や地域飲食店の紹介も掲載することで、地域全体の魅力発信につなげました。

そのほか、商談会への参加、JR 駅構内における PR 活動、新潟県港湾課主催のクルーズ船シンポジウムへの参加など、館外においても積極的な情報発信および交流機会の創出に努めてまいりました。

こうした諸活動を継続的に積み重ねてきた結果、2025年度の燕市産業史料館の年間入館者数及び体験事業売上額は過去最高となりました。ちなみに入館者数は27,919人を記録するに至りました。

1. 観光イベント開催事業

22,682,926円

(1) つばめ桜まつり 分水おいらん道中 <事業費 19,819,823 円>



「第80回分水おいらん道中」は、大河津分水桜並木・地藏堂本町通りの2か所を、3名のおいらん役を含む総勢63名で練り歩きました。

今回は80回を記念し、大河津分水さくら公園にて大抽選会を実施、350名の応募がありました。

また、昨年引き続き、来場者の記念撮影に応える染井吉野太夫が登場し、BSNアナウンサーの三石佳那さ

ん、若い衆役に BSN 社員、傘持ち役には燕市 PR 大使のいっすねー！山脇さんが務めました。

夜桜ライトアップを市内 4 カ所で実施しました。次年度も引き続き、つばめ桜まつり・分水おいらん道中を PR していきます。

商店街の賑わい創出においては、地元商店会主導で桜まつり期間中にイベントを企画運営し、地域活性・消費拡大のために大売り出しを実施しました。併せて当協会も連携しておいらん道中当日以外にも集客等をするため、周知 PR に努めました。

【実績】

① 2025 つばめ桜まつり

- ・期間：2025 年 3 月 21 日（金）～ 4 月 20 日（日）
- ・来場者数：6,810 人（前年比 65.0%） ※2024 年度：10,476 人

② 第 80 回分水おいらん道中

- ・開催日：2025 年 4 月 13 日（日）／ 天候：くもり時々雨
- ・場所：大河津分水桜並木、地藏堂本町通り
- ・来場者数：21,000 人（前年比 131.2%） ※2024 年度：16,000 人
- ・販売

協賛（ぼんぼり等）	104 件	2,035,000 円	（前年比 98.5%）
有料観覧席	171 席	342,000 円	（前年比 92.9%）
駐車場協力金	1,128 台	610,000 円	（前年比 94.6%）

（2）越後くがみ山 酒呑童子行列 <事業費 2,863,103 円>



道の駅国上のステージ広場を会場とし、酒呑童子はじめ出演者 17 名が会場と酒呑童子神社間を来場者と共に行列・記念撮影をしました。

20 回目の開催にあたり、特別ゲストとして酒呑童子役に元プロレスラーの小橋建太さんを起用した他、来場者とのミニゲームや飲食物販テント、各種ワークショップを実施しました。

また、当日までの 1 ヶ月間、市内各所でも PR イベントを実施し、周遊するスタンプラリーを企画しました。次年度も引き続き、継続していきます。

【実績】

① 2025 つばめ鬼まつり

・期間：2025年9月1日（月）～9月30日（火）

② 第20回酒呑童子行列

・開催日：2025年9月28日（日）／ 天候：晴天

・場所：道の駅国上、酒呑童子神社

・来場者数：4,320人（前年比96.4%） ※2024年度：4,480人

（3）国上山エコ・トレッキングツアー（観光プロモーション戦略事業） <事業費 880,000円>



国上山周辺の身近な自然を活かした自然観光の魅力
を体験してもらうため、NST新潟総合テレビとのタイ
アップ企画を実施しました。

参加者：230人（前年比88.1%） ※2024年度：261人

開催日時：2025年4月19日（土）

集合場所：道の駅国上

コース：道の駅国上→朝日山展望台→国上寺→

蛇崩れ→稚児道→朝日山展望台

2. 受託事業

46,970,740円

（1）観光プロモーション戦略事業 <事業費 3,022,377円>

① コンテンツ情報の発信強化

より効果的な情報発信を図るため、2025年度は職員研修を行いました。また、
つばめ桜まつり期間中から実践的な実務研修（インスタグラムの活用や発信方
法などを学ぶ研修）を実施したことにより、定型フォームを用いた効果的な発
信のための基礎を整えました。

② 情報発信ツール見直し

当協会ウェブサイトが7年ぶりにリニューアルしました。閲覧者が欲しい情報
に簡単にアクセスできるよう、モバイルファーストとし、アクセス解析や旅行商
品の申込決済が可能となるウェブサイトを構築し、全体を通して、燕市観光協会

のブランドカアッぷを図るべくロゴマークの作成も行いました。

体験パンフレット TSUBAMAKE (20,000 部)、燕市観光協会オリジナルカレンダー (500 部)

③ 広報活動

- ・雑誌掲載：雑誌 SODA「坂東龍汰の小煩惱」
- ・広告掲載：道の駅北陸版（秋冬号・春夏号）
- ・企業協賛：ヤマダイ「燕背脂ラーメン」を主体とした燕市の PR
- ・テレビ出演：NST「JOY のぶらり旅」
- ・イベント出展：THE NIIGATA 一周年祭、アルビレックス新潟オールニイガタ DAY、青空即売会、200m いちび（体験・観光協会 PR）、燕・弥彦広域観光連携会議、県観光協会主催のイベント（地場産・栃木県体験・観光協会 PR）
- ・SNS 発信：JNTO「分水おいらん道中」
- ・街ガチャ販売への協力（第二弾の景品の選定。2026 年 3 月 23 日販売開始）
- ・燕市との連携：産業観光 PR 用動画、ショート（15 秒）・ロング（商談会用）を作成。ショートは BSN にて、3/16～3/31 の間に 36 回放映。燕市広報の YouTube にて、公開中。ショートは 1 ヶ月間で 1.2 万回、ロングは 2.0 万回視聴。
- ・その他メディア関連からの取材、情報提供

④ 会員募集

当協会の認知度向上を図るべく、県内外イベントへの出店や市内商工会議所等の会議時における協会員加入依頼を促進しました。結果 2025 年度は 7 会員増となりました。

⑤ 市内団体支援

- ・八王寺大白藤の藤まつり

開催期間中の安全管理及びライトアップ支援

期間：2025 年 5 月 1 日～5 月 13 日

一日平均約 200 人

- ・国上山良寛史跡ボランティアガイド

「はちの子会」への周遊ガイド実施依頼

期間：2025 年 4 月～11 月

ガイド実施人数計 1,930 人(前年比 75.6%) ※2024 年度：2,553 人

うち、周遊ガイド実施人数計 41 件 61 人（前年比 100.0%）

※2024 年度：37 件 61 人

- ・国上山ネイチャーウォーク
「里山花とみどりの会」へのガイド依頼
年4回（5月、11月、1月、3月）開催
参加者計64人（前年比70.3%） ※2024年度：91人
- ・中ノ口川Eボート川下り体験
2025年8月2日 参加者106人（前年比126.2%） ※2024年度：84人
- ・吉田天満宮
広報ポスター制作支援
- ・戸隠神社春季祭礼 萬燈
広報ポスター制作支援、シャトルバスの運行（2025.5.17（土）のみ）

（2）産業観光推進事業 <事業費 43,948,363 円>

① 産業史料館運営事業

通常業務である史料館受付・館内案内・体験工房館運営等を継続して、お客様目線により分かりやすい案内表示板の設置や、季節を感じる装飾、モニターを使用した観光PRを実施しました。また、ミュージアムショップでは企画展連動型商品の販売を行うことで、職人や地場の企業との連携を深めました。

観光協会主催で年2回のシーズナルイベントを初開催し、第1回は夏新潟県アウトドア協会と連携した「ナイトミュージアム」を実施しました。第2回冬は観光協会オリジナルカレンダー制作を行った燕七十二候と共に「七十二候写真展」を行いました。市と連携し、9月から12月まで、アプリゲームとのコラボイベント「駅メモ！ステーションメモリーズ（粟生津しいら）」を開催し、全国からゲームファンの人達を呼び込むことができました。これらの取り組みにより、今年度は過去最高の入館者数27,919人を記録しました。

【実績】

入館者数 27,919人（前年比113.5%） ※2024年度：24,598人

企画展は、年5回開催しました。その期間中の入館者数です。

- | | | |
|---------------|----------------------|--------|
| ・第46回 燕手仕事展 | （2025年4月25日～5月25日） | 2,843人 |
| ・メッキの世界展 | （2025年6月13日～7月12日） | 2,612人 |
| ・小黒三郎と組み木の世界展 | （2025年8月8日～9月23日） | 5,944人 |
| ・燕の珈琲道具展 | （2025年10月10日～11月24日） | 5,375人 |
| ・美しき世界のスプーン展 | （2026年2月6日～3月15日） | 2,271人 |

② 観光プロモーション事業

一般団体はコロナ禍のマイクロツーリズム（近場で楽しむ小さな旅）の影響で修学旅行受入が多かった 2021・2022 年度を除き、過去最高の件数と人数になりました。また、インバウンド手配数も過去最高となりました。県港湾課と連携し、クルーズ船賑やかしのために東港で PR も行い、アメリカやクルーズ船のお客様は富裕層が多く、経済効果が非常に高いことを実感することができました。工場見学受入企業については、新たに 2 社が加わりました。

【産業観光受け入れ実績】

・ナビゲーター手配総数 353 件 8,260 人（前年比 111.0%）

※2024 年度：288 件 7,447 人

・工場見学受入工場手配数 10 件 3,238 人（前年比 102.0%）

※2024 年度：9 件 3,177 人

※受入人数 100 人超えの受入工場は下記の通りです。

藤次郎(株) 2,469 人 (株)武田金型製作所 215 人 山崎金属工業(株) 128 人

(株)サクライ 123 人 (株)フジノス 107 人 磨き屋一番館 104 人

・インバウンド手配総数 51 件 1,113 人（前年比 151.0%）

※2024 年度：36 件 737 人

・インバウンド受入工場数 4 件

（藤次郎(株)オープンファクトリー、(株)武田金型製作所、山崎金属工業(株)、磨き屋一番館）

・新規工場見学受入工場数 2 件（山崎金属工業(株)、(株)Wing-D）

・修学旅行手配総数 2 件 129 人（前年比 25.5%）

※2024 年度：14 件 506 人

【インバウンド手配詳細】

国	件数	人数	備考
台湾	18	334	史料館で体験がメイン
アメリカ	17	328	ハワイからのお客様が多数
その他	9	324	参加者は留学生 国際大学・大塚財団他
香港	3	64	
中国	1	22	
ブラジル	1	16	親戚訪問
シンガポール	1	15	
バングラディッシュ	1	10	JAICA 事業

※クルーズ船 6 件 123 名

職員体制については、ミュージアムショップ担当とイベント担当で計2名の臨時職員を採用しました。市からの派遣職員1名、兼務職員2名、協会職員8名、体験工房館スタッフ9名の総勢20名体制になりました。2025年度は旅行商品造成を開始し、初の旅行商品として、燕さくらマラソン参加者向けの「燕サクラ満喫ごほうびツアー」を発売し、8名の人から参加をいただきました。その他、青空即売会やヤクルトスワローズ関連のライスファームイベントの日帰りツアーを企画するも、定員数に達せずに、催行することができませんでした。今後の新たな商品開発のために、企画力向上と効果的な宣伝方法の検討など、課題を整理してまいります。

「稼ぐ観光協会」を目指して新しいお土産開発に3Dプリンターを使用したり、社外講師を招いて受付担当者全職員がSNS等広報宣伝研修に参加したりと、職員のレベルアップにも努めました。燕市産業史料館や燕市観光協会の認知度アップを図るため、昨年に引き続き、「新潟酒の陣」にも出展し、出店申込時より体験工房館職員をメインに準備を進めるなど、スタッフ間で検討を重ね、2025年度は酒器にフォーカスした商品構成とし、錫・銅のぐい呑みをメインに錫小皿や箸置きを併せて販売することで対前年比133%の売上となりました。

【新潟酒の陣】

年度	出店料	売上
2024年	121,000円	352,000円
2025年	139,040円※	469,300円

※2025年の出店料にはオプション18,040円が加算されている。

貸借対照表
2026年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,802,158	20,462,003	2,340,155
未収金	818,905	585,005	233,900
貯蔵品	123,300	0	123,300
立替金	104,882	4,084	100,798
流動資産合計	23,849,245	21,051,092	2,798,153
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	227,766	319,000	△ 91,234
リース資産	1,200,990	2,054,862	△ 853,872
敷金	29,000	29,000	0
ソフトウェア	6,615,180	0	6,615,180
その他固定資産合計	8,072,936	2,402,862	5,670,074
固定資産合計	8,072,936	2,402,862	5,670,074
資産合計	31,922,181	23,453,954	8,468,227
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,486,105	10,419,565	1,066,540
未払消費税等	1,380,200	1,278,600	101,600
前受金	2,212,900	2,223,400	△ 10,500
預り金	1,741,526	1,149,941	591,585
流動負債合計	16,820,731	15,071,506	1,749,225
2. 固定負債			
長期未払金	454,038	1,200,990	△ 746,952
固定負債合計	454,038	1,200,990	△ 746,952
負債合計	17,274,769	16,272,496	1,002,273
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	14,647,412	7,181,458	7,465,954
正味財産合計	14,647,412	7,181,458	7,465,954
負債及び正味財産合計	31,922,181	23,453,954	8,468,227

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日 から 2026年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	555,000	613,000	△ 58,000
事業収益			
受託事業収入	46,879,506	44,326,658	2,552,848
参加費収入	333,418	45,500	287,918
グッズ収入	8,973,041	1,748,190	7,224,851
広告料（協賛金）	2,135,000	2,145,000	△ 10,000
協力金	952,000	1,012,450	△ 60,450
手数料収入	590,226	0	590,226
事業収益計	59,863,191	49,277,798	10,585,393
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	57,186,584	46,193,062	10,993,522
雑収益			
受取利息	114,644	24,659	89,985
雑収益	4,818	4,818	0
雑収益計	119,462	29,477	89,985
経常収益計	117,724,237	96,113,337	21,610,900
(2) 経常費用			
事業費			
設営費	9,313,445	8,655,626	657,819
行事費	7,871,475	7,766,801	104,674
宣伝費	4,028,890	3,057,108	971,782
報償費	33,000	0	33,000
給料手当	18,024,031	17,731,264	292,767
福利厚生費	2,397,825	2,399,094	△ 1,269
旅費交通費	400,351	146,468	253,883
通信運搬費	606,614	662,813	△ 56,199
減価償却費	91,234	77,000	14,234
消耗品費	21,114,689	17,979,043	3,135,646
修繕費	217,220	356,000	△ 138,780
印刷製本費	2,200,164	3,020,000	△ 819,836
光熱水料費	63,295	46,283	17,012
保険料	224,666	246,700	△ 22,034
租税公課	9,298	2,003	7,295
事務委託費	2,802,498	1,958,220	844,278
食糧費	363,214	276,996	86,218
手数料	234,698	299,806	△ 65,108
雑費	4,750	17,223	△ 12,473
事業費計	70,001,357	64,698,448	5,302,909

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日 から 2026年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	19,013,932	16,141,261	2,872,671
福利厚生費	4,052,885	2,625,101	1,427,784
旅費交通費	79,730	7,770	71,960
通信運搬費	753,606	775,577	△ 21,971
減価償却費	1,588,892	853,872	735,020
消耗什器備品費	795,900	0	795,900
消耗品費	5,988,095	1,216,643	4,771,452
修繕費	169,646	27,115	142,531
印刷製本費	259,875	0	259,875
燃料費	264,459	280,991	△ 16,532
賃借料	2,004,184	2,089,926	△ 85,742
保険料	376,740	383,490	△ 6,750
租税公課	2,590,655	2,328,719	261,936
支払負担金	719,150	1,649,000	△ 929,850
手数料	1,152,437	681,995	470,442
委託費	308,000	264,000	44,000
雑費	138,740	180,070	△ 41,330
管理費計	40,256,926	29,505,530	10,751,396
経常費用計	110,258,283	94,203,978	16,054,305
評価損益等調整前当期経常増減額	7,465,954	1,909,359	5,556,595
当期経常増減額	7,465,954	1,909,359	5,556,595
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	7,465,954	1,909,359	5,556,595
当期一般正味財産増減額	7,465,954	1,909,359	5,556,595
一般正味財産期首残高	7,181,458	5,272,099	1,909,359
一般正味財産期末残高	14,647,412	7,181,458	7,465,954
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	14,647,412	7,181,458	7,465,954

正味財産増減計算書内訳表
2025年 4月 1日 から 2026年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	つばめ桜まつり 実行委員会	酒呑童子行列 実行委員会	観光推進事業		
			史料館運営 業務事業	つばめ産業観光 推進事業	小計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
受取会費	0	0	0	0	0
事業収益					
受託事業収入	0	0	33,940,915	9,916,214	43,857,129
参加費収入	0	22,800	0	0	0
グッズ収入	43,750	38,480	0	0	0
広告料(協賛金)	2,035,000	100,000	0	0	0
協力金	952,000	0	0	0	0
手数料収入	36,000	0	0	0	0
事業収益計	3,066,750	161,280	33,940,915	9,916,214	43,857,129
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	16,000,000	2,863,103	0	0	0
雑収益					
受取利息	9,420	4,255	43,037	0	43,037
雑収益	0	0	0	0	0
雑収益計	9,420	4,255	43,037	0	43,037
経常収益計	19,076,170	3,028,638	33,983,952	9,916,214	43,900,166
(2) 経常費用					
事業費					
設営費	8,338,295	975,150	0	0	0
行事費	6,521,907	1,112,308	0	0	0
宣伝費	3,464,090	265,100	0	0	0
報償費	0	0	33,000	0	33,000
給料手当	0	0	10,159,352	7,864,679	18,024,031
福利厚生費	0	0	811,918	1,585,907	2,397,825
旅費交通費	126,690	59,161	54,900	0	54,900
通信運搬費	278,500	29,783	266,580	0	266,580
減価償却費	0	0	91,234	0	91,234
消耗品費	394,980	381,492	20,094,310	192,050	20,286,360
修繕費	217,220	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	1,656,330	0	1,656,330
光熱水料費	63,295	0	0	0	0
保険料	78,210	0	74,680	70,000	144,680
租税公課	1,442	651	7,190	0	7,190
事務委託費	0	0	737,500	201,598	939,098
食糧費	300,416	27,448	9,350	0	9,350
手数料	32,328	9,710	35,805	1,980	37,785
雑費	2,450	2,300	0	0	0
事業費計	19,819,823	2,863,103	34,032,149	9,916,214	43,948,363
管理費					
給料手当	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
管理費計	0	0	0	0	0
経常費用計	19,819,823	2,863,103	34,032,149	9,916,214	43,948,363
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 743,653	165,535	△ 48,197	0	△ 48,197
当期経常増減額	△ 743,653	165,535	△ 48,197	0	△ 48,197
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 743,653	165,535	△ 48,197	0	△ 48,197
税引前当期一般正味財産増減額	△ 743,653	165,535	△ 48,197	0	△ 48,197
当期一般正味財産増減額	△ 743,653	165,535	△ 48,197	0	△ 48,197
一般正味財産期首残高	2,105,817	442,467	328,686	0	328,686
一般正味財産期末残高	1,362,164	608,002	280,489	0	280,489
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,362,164	608,002	280,489	0	280,489

正味財産増減計算書内訳表
2025年 4月 1日 から 2026年 3月 31日 まで

(単位：円)

燕市観光協会（本会計）				
観光プロモーション 戦略事業	旅行業事業	法人会計	合計	科 目
				I 一般正味財産増減の部
				1. 経常増減の部
				(1) 経常収益
				受取会費
0	0	555,000	555,000	受取会費
				事業収益
3,022,377	0	0	46,879,506	受託事業収入
0	182,000	128,618	333,418	参加費収入
0	0	8,890,811	8,973,041	グッズ収入
0	0	0	2,135,000	広告料（協賛金）
0	0	0	952,000	協力金
0	0	554,226	590,226	手数料収入
3,022,377	182,000	9,573,655	59,863,191	事業収益計
				受取補助金等
0	24,000	38,299,481	57,186,584	受取地方公共団体補助金
				雑収益
0	103	57,829	114,644	受取利息
0	0	4,818	4,818	雑収益
0	103	62,647	119,462	雑収益計
3,022,377	206,103	48,490,783	117,724,237	経常収益計
				(2) 経常費用
				事業費
0	0	0	9,313,445	設営費
81,600	155,660	0	7,871,475	行事費
299,700	0	0	4,028,890	宣伝費
0	0	0	33,000	報償費
0	0	0	18,024,031	給料手当
0	0	0	2,397,825	福利厚生費
0	159,600	0	400,351	旅費交通費
30,571	1,180	0	606,614	通信運搬費
0	0	0	91,234	減価償却費
51,857	0	0	21,114,689	消耗品費
0	0	0	217,220	修繕費
543,834	0	0	2,200,164	印刷製本費
0	0	0	63,295	光熱水料費
0	1,776	0	224,666	保険料
0	15	0	9,298	租税公課
1,863,400	0	0	2,802,498	事務委託費
0	26,000	0	363,214	食糧費
151,415	3,460	0	234,698	手数料
0	0	0	4,750	雑費
3,022,377	347,691	0	70,001,357	事業費計
				管理費
0	0	19,013,932	19,013,932	給料手当
0	0	4,052,885	4,052,885	福利厚生費
0	0	79,730	79,730	旅費交通費
0	0	753,606	753,606	通信運搬費
0	0	1,588,892	1,588,892	減価償却費
0	0	795,900	795,900	消耗什器備品費
0	0	5,988,095	5,988,095	消耗品費
0	0	169,646	169,646	修繕費
0	0	259,875	259,875	印刷製本費
0	0	264,459	264,459	燃料費
0	0	2,004,184	2,004,184	賃借料
0	0	376,740	376,740	保険料
0	0	2,590,655	2,590,655	租税公課
0	0	719,150	719,150	支払負担金
0	0	1,152,437	1,152,437	手数料
0	0	308,000	308,000	委託費
0	0	138,740	138,740	雑費
0	0	40,256,926	40,256,926	管理費計
3,022,377	347,691	40,256,926	110,258,283	経常費用計
0	△ 141,588	8,233,857	7,465,954	評価損益等調整前当期経常増減額
0	△ 141,588	8,233,857	7,465,954	当期経常増減額
				2. 経常外増減の部
				(1) 経常外収益
0	0	0	0	経常外収益計
				(2) 経常外費用
0	0	0	0	経常外費用計
0	0	0	0	当期経常外増減額
0	△ 141,588	8,233,857	7,465,954	他会計振替前当期一般正味財産増減額
0	△ 141,588	8,233,857	7,465,954	税引前当期一般正味財産増減額
0	△ 141,588	8,233,857	7,465,954	当期一般正味財産増減額
△ 156,545	0	4,461,033	7,181,458	一般正味財産期首残高
△ 156,545	△ 141,588	12,694,890	14,647,412	一般正味財産期末残高
				II 指定正味財産増減の部
0	0	0	0	当期指定正味財産増減額
0	0	0	0	指定正味財産期首残高
0	0	0	0	指定正味財産期末残高
△ 156,545	△ 141,588	12,694,890	14,647,412	III 正味財産期末残高

財務諸表に対する注記（2025年度）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 会計基準について

「平成20年度改定公益法人会計基準」に拠っている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法。

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産については、原則として税法による基準により実施。

法人税法の規定に基づく定率法を採用しているが、リース資産においては、リース期間を耐用年数とし残存価額を0とする定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

該当事項なし

(5) 消費税等の会計処理

税込み処理を採用している。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(1) 有形固定資産

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	396,000	168,234	227,766
リース資産	7,327,728	6,126,738	1,200,990

(2) 無形固定資産

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	7,350,200	735,020	6,615,180

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期 末残高	債権の当期末残高
該当事項なし	0	0	0

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当事項なし	0	0	0

財務諸表に対する注記（2025年度）

- 1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照の記載区分
燕市観光協会補助金	燕市	0	54,455,858	54,455,858	0	
新潟県交通振興局 イベント開催支援補助金	新潟県	0	6,726	6,726	0	
合計		0	54,462,584	54,462,584	0	

- 1 2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位：円)

内 容	金 額
該当事項なし	0

- 1 3. 関連当事者との取引の内容
関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。
別紙参照（雛形ファイルを使用）

- 1 4. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末		当期末	
現金預金勘定	20,462,003円	現金預金勘定	22,762,158円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	円
公社債投資信託等振替額	円	公社債投資信託等振替額	円
現金及び現金同等物	20,462,003円	現金及び現金同等物	22,762,158円

- (2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
該当事項なし	該当事項なし

- 1 5. 重要な後発事象
該当事項なし

- 1 6. その他
該当事項なし

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
その他固定資産	什器備品	319,000	0	91,234	227,766
	リース資産	2,054,862	0	853,872	1,200,990
	ソフトウェア	0	7,350,200	735,020	6,615,180
	敷金	29,000	0	0	29,000
	その他固定資産計	2,402,862	7,350,200	1,680,126	8,072,936

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
該当事項なし					

財 産 目 録
2026年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金 本会計	第四北越銀行	運転資金	5,919,251
	未収金		グッズ収入未収金	425,158
	貯蔵品		ミュージアムショップ棚卸	123,300
	普通預金 つばめ桜まつり会計	第四北越銀行	つばめ桜まつり運転資金	5,206,055
	普通預金 酒呑童子行列会計	第四北越銀行	酒呑童子行列運転資金	743,939
	未収金		グッズ未収金	960
	普通預金 つばめ産業観光推進事業会計	第四北越銀行	つばめ産業観光推進事業運転資金	7,892,851
	未収金		燕市受託事業 未収金(事業終了後入金)	392,787
	普通預金 史料館運営事業会計	第四北越銀行	史料館運営事業運転資金	2,227,282
	普通預金 旅行業事業会計	第四北越銀行	旅行業事業運転資金	48,792
普通預金 人件費会計	第四北越銀行	人件費 預り金各種	723,988	
立替金			104,882	
	現金	事務局内	ミュージアムショップ用レジ釣り銭	40,000
流動資産合計				23,849,245
(固定資産)	その他固定資産			
	什器備品	体験工房館	圧延機	227,766
	リース資産		公用車(ハイゼットカーゴ ホワイト)	333,195
			公用車(ハイゼットカーゴ シルバー)	333,195
			公用車(セレナ)	534,600
	ソフトウェア			6,615,180
	敷金	JR燕三条駅		29,000
固定資産合計				8,072,936
資産合計				31,922,181
(流動負債)	未払金	本会計	燃料費 3月請求分	31,980
			通信運搬費 3月請求分	59,290
			消耗品費 3月請求分	581,853
			手数料(支払振込、ネットバンキング手数料、他)	12,815
			経理システム使用料(手数料、賃借料)	26,950
			委託費	22,000
			雑費(三條新聞、新潟日報購読料3月分)	6,000
			公用車ハイゼットカーゴホワイト1年内支払分科目振替	266,556
			公用車ハイゼットカーゴシルバー1年内支払分科目振替	266,556
			公用車ステップワゴン1年内支払分科目振替	320,760
			給料手当(職員残業代)	371,173
			福利厚生費(3月分、社会保険料事業所負担分)	195,228
			福利厚生費(労働保険料事業所負担分)	230,977
			手数料(3月分セキュリティ手数料)	12,100
			通信運搬費 3月請求分	1,720
			通信運搬費(GoogleOne利用料)	4,400
			宣伝費	38,500
			印刷製本費	201,459
			事務委託費	165,000
			受託金返納	57,623
		つばめ桜まつり会計	手数料(振込手数料)	3,300
			消耗品費	118,551
			宣伝費	1,401,290
			食糧費	1,998
			通信運搬費 3月請求分	135,752
		酒呑童子行列会計	補助金返納額	136,897
		旅行業事業会計	手数料(振込手数料)	880
		つばめ産業観光推進事業会計	手数料(ネットバンキング振込手数料、他)	10,423
			通信運搬費 3月請求分	44,405
			消耗品費	916,994
			印刷製本費	248,920
			事務委託費	15,000
			給料手当(職員残業代2名分)	54,355
			給料手当(時給制職員9名分)	1,109,303
			福利厚生費(時給制職員3名分通勤費)	12,600
			福利厚生費(月給制職員3月分、社会保険料事業所負担分)	90,753
			福利厚生費(時給制職員3月分、社会保険料事業所負担分)	39,091
			福利厚生費(月給制職員、労働保険料事業所負担分)	93,996
			福利厚生費(時給制職員、労働保険料事業所負担分)	78,999
			受託金返納	4,099,658
	未払消費税等	法人全体	消費税 2025年度分(後期納付分)	1,380,200
	前受金	つばめ桜まつり会計	広告協賛	1,887,000
			協力金(団体席・駐車場)	296,000
		旅行業	参加費	29,900
	預り金	法人全体	住民税	69,900
			社会保険料	1,362,022
			雇用保険料	168,159
			ミュージアムショップ委託販売	52,320
			事業所負担分(預かり福利厚生費)	89,125
流動負債合計				16,820,731
(固定負債)	長期未払金	本会計	公用車3台	454,038
固定負債合計				454,038
負債合計				17,274,769
正味財産				14,647,412

	制作	助成額	重量	保険額	設置場所
鏡みこし	平成4年	5,000,000円	1 t	2,000万円	J R燕三条駅1階
銀みこし	平成5年	3,000,000円	500 kg	2,000万円	燕市中央公民館1階
金みこし	平成6-12年	14,000,000円	400 kg	2,200万円	燕市産業史料館


監査報告書

一般社団法人 燕市観光協会
会長 藤田進 殿

2026年5月11日 一般社団法人 燕市観光協会

監事 北村啓一 

2026年5月11日 一般社団法人 燕市観光協会

監事 平原美香 

私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、必要に応じて理事及び使用人等から職務の執行状況について報告を受け、決算書類等及び収支伝票並びに預金通帳等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ア) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- イ) 理事の職務の執行に関する不適切な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。